

第3次行財政再構築プランの進捗状況

(平成29年9月末現在) について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第3次行財政再構築プランの進捗状況については、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言をいただくこととしています。今回は、各プログラムの平成29年9月末現在の進捗状況について、報告します。

1 各プログラムの平成29年9月末進捗状況

平成29年9月末現在のスケジュールの進捗状況については、全43項目（再掲2項目）の取組のうち、39項目が「予定どおりに進捗」、4項目が「予定よりも遅れている」となりました。今回の進捗状況は主に進行状況について評価を行っておりますが、年度末の評価では成果も踏まえ評価を行う予定です。

【表1】各プログラムの進捗状況（平成29年9月末）

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (7項目)	0	7	0
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (3項目)	0	3	0
III PDCAサイクルの構築 (6項目)	0	6	0
IV 財政基盤の強化 (14項目)	0	10	4
V 執行体制の再構築 (13項目)	0	13	0
計	0	39	4

【参考1】 予定よりも遅れている取組一覧（4項目）

No	項目名	平成29年9月末 進捗状況	要因と今後の対応
20	財務指標の改善	前年度末残高と比べ、財政調整基金は-0.6億円、公共施設整備基金は-0.9億円となっており、基金残高は、財政調整基金24.8億円、公共施設整備基金20.6億円となっている。	【要因】 平成29年度予算編成において、財源不足を補うために積立て以上に取崩しが多くなったため、残高が減となった。 【今後の対応】 今後、補正予算の機会をとらえ、財源が確保された場合には、基金残高の回復に努める。
22	市内産業の育成	「創業支援事業計画」を推進し、各機関と連携して、個別相談や創業セミナーなど幅広い創業支援を行った（創業支援件数：63件（8月末現在））。また、「こだいらコワーキングスペースすだち」を活用し、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を提供することで、就労機会の拡大やワークライフバランスの支援を行った（講習会参加者数：16人）（9月末現在）。	【要因】 創業セミナーなどの創業支援については、年の後半に予定されている。また、すだちについては、3月に一般社団法人化し、年度当初は組織体制づくりを行っていたことにより、講習会などの開催が7月からとなった。 【今後の対応】 予定通りの開催に向け、引き続きPR等の支援を行っていく。
23	市税・国民健康保険税の収納率向上対策の実施	<市税> 現年分：55.9%(-0.6ポイント) 滞繰分：19.1%(-1.1ポイント) 全体：55.1%(-0.5ポイント) <国民健康保険税> 現年分：33.0%(+0.5ポイント) 滞繰分：15.7%(+1.1ポイント) 全体：29.8%(+0.6ポイント)	【要因】 市税は市都民税・特別徴収の推進が本格化し、普通徴収から特別徴収への移行により納期限が後送りとなった。また、たばこ税の9月末納期が土日の関係で翌月送りとなったことが徴収率に影響した。 【今後の対応】 今後、徴収率の推移を見守る必要はあるものの、これまでと同様、策定した方針・対策のもと、現年度徴収対策を中心に、滞納処分あるいは停止を早期に見極めること、さらに給与等の継続債権の差押えを進め、徴収率向上に努める。
24	介護保険料の収納率向上対策の実施	現年 47.68%(-0.50ポイント) 滞繰 6.35%(-0.29ポイント) 全体 46.75%(-0.51ポイント)	【要因】 現年分収納率は、特別徴収と普通徴収からなっている。特別徴収は、年度途中では常に変動しており、現年分における普通徴収の割合が、昨年度に比べ、わずかに上がったため、昨年度同時期より収納率が若干下がっている。 【今後の対応】 昨年度に引き続き、督促状・催告書の発送、電話催告・訪問催告、口座振替への勧奨等の対策を行っていくことで、年度末目標は達成可能と考える。